平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	造形1(Modeling1)			**授業コード**	C177001
担当教員名	冨田礼志				
配当学年	1	**開講期**	前期		
必修・選択区分	選択	**単位数**	1		
履修上の注意または履修条件	1年後期開講の「造形2」を受講予定の学生は、必ず本科目を事前に履修しておくこと。				
受講心得	授業時はもちろん、課外の予習復習(自習)を通して、以下の点が達成できるように学習を進めてください。 ●色彩に関する知識、理解を深めることができる。 ●画材道具の使い方、技法を追求し、深めることができる。 ●美の秩序を理解し作品に応用できる。 ●平面空間における構成力や表現力を身につけ追求できる。				
教科書	資料を配布します。				
参考文献及び指定図書					
関連科目	造形2、造形3、造形4、デッサン1、デッサン2、CG基礎、CG1、CG2、CG3				

授業の目的	この科目の目的は、視覚表現に用いる素材についての知識や表現技法を身につけること、色彩に関する知識を深めることの2点を通して、より良い視覚表現を求めていくための基礎力を養うことにあります。デジタル技術を用いた表現力を高めるに、デジタル技術以前の、従来の描画材を用いた表現技法の訓練を行います。
授業の概要	デジタル技術を用いた表現力を高めるには、従来の描画材を用いた表現技法の訓練が欠かせません。具体的には、(1)アクリル絵の具を主に用いて平面表現における色彩構成のトレーニングを行い、色彩に関する感覚を養います。(2)画面の構成力を学ぶことにより、平面空間における表現力を養います。(3)各種の素材の活かし方や基本的な画材の使用法を習得します。

○授業計画	
学修内容	**学修課題(予習・復習)**
第 1 週 : ○第1回・2回・3回 「かたちあるもの1」(自然系1) ここでは、「かたちあるもの」の観察を講義の中で行います。(1)～(4)までの項目にある内容をフィールド・ワークによる学習を通じて実際に観察した素材を分析、考察を行います。2回分の連続の講義の中で制作による色彩の演習を中心に観察力および考える力の育成を目的にしています。 (1)造形の要素とは (2)色彩について(色彩とその形態) (3)色彩と属性的思考 (4)色彩と材質感	課題:「かたちあるもの1」(自然系1)
第 2 週 :「かたちあるもの1」(自然系1) 前週に続き課題制作を行います。	課題:「かたちあるもの1」(自然系1)
第 3 週 :「かたちあるもの1」(自然系1) 前週に続き課題制作を行います。	課題:「かたちあるもの1」(自然系1)
第 4 週 : ○第4回・5回・6回・7回 「かたちあるもの2」(自然系2) ここでは、第1～3回において学習してきた内容を基にして学んでいきます。 「自然系からの形成による構成」についてさまざまな側面や条件、考え方の講義を4回連続の演習を通じて学習します。演習は、プリントなどの資料を用いてトレーニングを行い、内容の理解力を高めます。その過程の中で、造形の要素をさまざまな側面や条件、考え方についてひとつひとつ確認していきます。 (1)造形の要素について (2)造形の要素と構成の条件 (3)造形の要素と構成の側面 (4)構成の要素・・・点、線、面 (5)造形の要素と構成についてのまとめ	

第 5 週 :「かたちあるもの2」(自然系2) 前週に続き課題制作を行います。	課題:「かたちあるもの2」(自然系2)
第 6 週 :「かたちあるもの2」(自然系2) 前週に続き課題制作を行います。	課題:「かたちあるもの2」(自然系2)
第 7 週 :「かたちあるもの2」(自然系2) 前週に続き課題制作を行います。	課題:「かたちあるもの2」(自然系2)
第 8 週 : ○第8回・9回・10回 「平面構成について」 ここでは、平面構成の形式についてのプリント学習を中心に3回連続の学習を行います。また、さまざまな構成形式を前回までに学んできた造形要素を基に造形と構成について分析し考察する力を育成します。 (1)美的形式について (2)シンメトリーについて (3)プロポーションとリズムについて	課題:「平面構成1」
第 9 週 :「平面構成について」 前週に続き課題制作を行います。	課題:「平面構成1」
第10週 :「平面構成について」 前週に続き課題制作を行います。	課題:「平面構成1」
第11週 : ○第11回・12回・13回 「平面における色彩構成1」 ここでは、第8回～10回において学習した構成を基にして色面による平面構成について3回連続の学習をします。学習方法は、主にプリントによる演習を行います。 (1)色彩構成について (2)点・線・面と色面について (3)色彩の質量について	課題:「平面における色彩構成1」
第12週 :「平面における色彩構成1」 前週に続き課題制作を行います。	課題:「平面における色彩構成1」
第13週 :「平面における色彩構成1」 前週に続き課題制作を行います。	課題:「平面における色彩構成1」
第14週 : ○第14回・15回 「形態の発想1」 ここでは、あるテーマの設定を行い、それを基に形態の発想、制作を行います。2回連続で制作による演習を行います。課題制作の中で、平面上における形態を発想する力を育成します。制作する課題は、これまでの学習習熟度によって決定します。 (1)形態の発想訓練 (2)平面上における形態の発想 (3)まとめ・・・評価と理解度の確認	課題: 「形態の発想1」
第15週 :「形態の発想1」 前週に続き課題制作を行います。	課題: 「形態の発想1」
第16週 : 期末試験	

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	(1)平面空間における構成力や表現力を身につけ追求できる。
【知識・理解】	

【技能・表現・コミュニケーション】	（1）アクリル絵の具を主に用いて平面表現における色彩構成のトレーニングを行い、色彩に関する感覚をう養う。（2）平面空間における表現力を身につける。
【思考・判断・創造】	（1）各種の素材の活かし方を学ぶ。（2）画面の構成力を学ぶ。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			**5点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。				
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**45点**		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**50点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	1. 教師の指示や提示課題を理解し、制作に自分なりの工夫を加えること。 2. 発想や制作過程や作品の仕上がりに独創性があること。
発表・その他（無形成果）	1. 無駄話をせず、集中して制作に取り組むこと。 2. 与えられた材料を無駄にせず、有効に使うこと。 3. 使った道具や場所を清掃すること。